

言葉の壁いきなり実感



柳沢 佳織さん

3月3日のひな祭りの日、私たちはフィリ

ピンに到着し、初めての体験となった。今回は、飛行機に乗

た。今、飛行機に乗ると、たくさんの人々が行き交う光景に圧倒された。空港内にはたくさんの売店やレストランが入っており、観光客からすればとても充実している場所だと感じ

留学体験記 八戸短大生が見た フィリピンの

①

ピンという国名は、初めて乗った時は国内線マンニラ市にある学校「ONE1」を目標に、午後9時すぎに本八戸駅から夜行バスに乗り、八戸を出発した。翌朝7時ごろ、東京駅に到着し、そこから高速バスで成田空港へ向かった。初めての成田空港だったが、膨大な広さと

というトラブルが発生。自分の勉強不足を反省することになった。取捨場所も分からず、

た。空港内で荷物を受け取った。現地の日

挙げ句の果てには手元に来るまで時間がかかった。不安になった。やっとの思いで空港から出て、私たちが待っていてくれた現地の人々、本人スタッフの方々に会った時にはとても安心した。

それと同時に、言葉の壁の影響はとも大それた初日だった。

(柳沢佳織)八戸学院大短期大学部



現地の空港で記念写真に納まる私(中央)と宮澤日向子さん(左)、立花夢歌さん

八戸学院大短期大学部ライフデザイン学科1年生の立花夢歌さん(19)、宮澤日向子さん(20)、柳沢佳織さん(19)が、4日から約1カ月間の日程でフィリピンに語学留学しています。現地では体験したことについて、3人に計9回にわたって寄稿してもらい、本紙で紹介しています。

※随時掲載